

19都市建企第5号
平成19年4月9日

(社) 東京建設業協会 殿

東京都都市整備局市街地建築部
建築企画課長 小野 幹雄
専門副参事(建築構造) 望月 国宏
(公印省略)

コンクリート強度の気温による
補正值T等の適用期間の改訂について (通知)

日頃、東京都の建築行政の運営にご協力いただき、厚く感謝しております。
さて、このたび東京都では、標記に示す「コンクリート強度の気温による補正值T等」
の適用期間について、別紙のとおり改訂し、平成19年6月1日より運用を開始することとし
ましたので、お知らせします。
つきましては、本通知内容について関係者への周知方よろしく申し上げます。

[担当]

東京都都市整備局市街地建築部
建築指導課 大熊、中澤
電話：03-5388-3363

コンクリート強度の気温による 補正值 T 等の適用期間の改訂について

第1 建築工事における「コンクリート強度の気温による補正值等」の必要性

建築基準法施行令第74条第3項においては、「コンクリートは、打上がりが均質で密実になり、かつ、必要な強度が得られるようにその調合を定めなければならない」とされている。コンクリート工事においては、一般に、気温による影響を受けやすく、冬期においてはコンクリート強度の気温による補正值を加えて必要な強度が得られるように、また、夏期においては、コールドジョイントやひび割れが起こらないよう、コンクリートの調合を行わなければならない。

この補正值は、本来、工事施工者等がコンクリートを生コンクリート生産者に発注する際に、建設地の気温を予想して定めるものであるが、信頼できる適切なデータが少ないこと等の理由から発注する強度に混乱がみられ、一部では凍結事故や強度の発現不良等の例もみられる。

東京都では、これらに対応するため、従来から（社）日本建築学会が定める「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事（以下「JASS5」という。）」の「コンクリート強度の気温による補正值 T（以下「補正值 T」という。）」を適用する場合、及び、暑中コンクリートを適用する場合における標準的な適用期間を提示してきた。

しかしながら、近年、地球温暖化現象等の影響により、年々気温が上昇する傾向にある。一方、現在東京都が提示している適用期間については、昭和36年から平成2年までの30年間の気象庁統計資料を基にしているため、現況を適切に反映した数値とは考えにくいものとなっている。

そこで、気温の変化を反映させて、補正值 T の適用期間及び暑中コンクリートの適用期間の見直しを行った。（下記（1））

また、平成15年2月に改正された JASS5 に基づく見直しも行った。
（下記（2））

- (1) 昭和60年から平成16年までの20年間の気象庁統計資料を基に、暑中コンクリートの適用期間、補正值 T の適用期間を見直した。
- (2) 補正值 T の標準値に、中庸熱ポルトランドセメントの標準値を追加し、フライアッシュセメント B 種および普通ポルトランドセメントの標準値を見直した。

第2 都内における標準的な適用期間

JASS5 「5節 調合」の「表5.1」に対応する、材齢28日の場合の東京都内における標準的な適用期間を表1.1から表1.7までに示す。これ

らを補完するための参考として、都内の各区市及び隣接県の各市（図 参照）における適用期間を参考表 1・1 から参考表 1・4 までに示す。また、「表 5. 2」に対応する、長期管理材齢の場合の東京都内における標準的な適用期間を表 2・1 から表 2・4 に示す。

表 1・1 は、23 区内のうち、北部の一部を除き適用することができる。表 1・2 から表 1・7 までは、それぞれの測定地で適用できる。

上記の場合を除き、各表を都内の各地において適用する場合は、安全側の表を用いるか、又は、適宜各表の数値を組み合わせて、直線補完する等の措置が必要である。

第 3 適用期間の計算方法

(1) 各表の適用期間は、打ち込みから強度管理材齢までの期間の予想平均気温（以下「予想平均気温（ t ）」という。）について気象庁統計資料を基に計算により求めた。各表の算出に当たって使用した資料を下記の表に示す。a 欄に掲げた表については、過去 20 年間（昭和 60 年から平成 16 年まで）の気象庁の資料により求め、b 欄に掲げた表については、気象庁アメダスの過去 20 年間（昭和 60 年から平成 16 年まで）の資料により求めた。

使用した資料		左記資料を適用した表
a	気象庁資料 昭和 60 年から 平成 16 年まで	表 1・1、表 2・1、参考表 1・1～1・3 表 1・5～1・7
b	気象庁資料（アメダス） 昭和 60 年から 平成 16 年まで	表 1・2、表 2・2、参考表 1・4 表 1・3、表 1・4、表 2・3、表 2・4

(2) 計算は、以下の方法によった。

予想平均気温（ t ）は、気象庁統計資料の日平均気温「日別値」から、気象庁の統計方法に準拠し、「日別平滑平年値」を求め、これを打ち込みの日から強度管理材齢の日まで合計し、強度管理材齢の数で除して求めた。また、数値は少数第 2 位を J I S Z 8 4 0 1 により丸め、小数第 1 位まで求めた。なお、閏年の 2 月 29 日の数値は削除した。

これにより得られる予想平均気温（ t ）の範囲を「基本適用期間」とし、これに下記の表に示す日数を加え、安全側となるように実用上の「標準適用期間」を定めた。

補正值T (N/mm ²)	3	6
安全側に加算する日数	1日	2日

(3)現場封かん養生供試体による強度管理材齢が、29日から91日までの場合の補正值T_nの適用期間については、上記の日数を加算せず、「基本適用期間」のみを示した。

これは、現場封かん養生供試体による強度管理方法の場合は、気温の変動に対し、積算温度の計算等により所要の強度が発現するまで養生期間を延長するなど、合理的な管理が行われることを前提としているためである。

(4)暑中コンクリートは、JASS 5 1 5 節では、一般に平均気温が25度を超える期間に適用することが望ましいとしている。

ここでは、上記(2)の「日別平滑平年値」が25度以上になる期間とし、特に日数加算による補正はしていない。実務的には、生コンクリート生産者との協議によることとなる。

図一 気温の測定地点

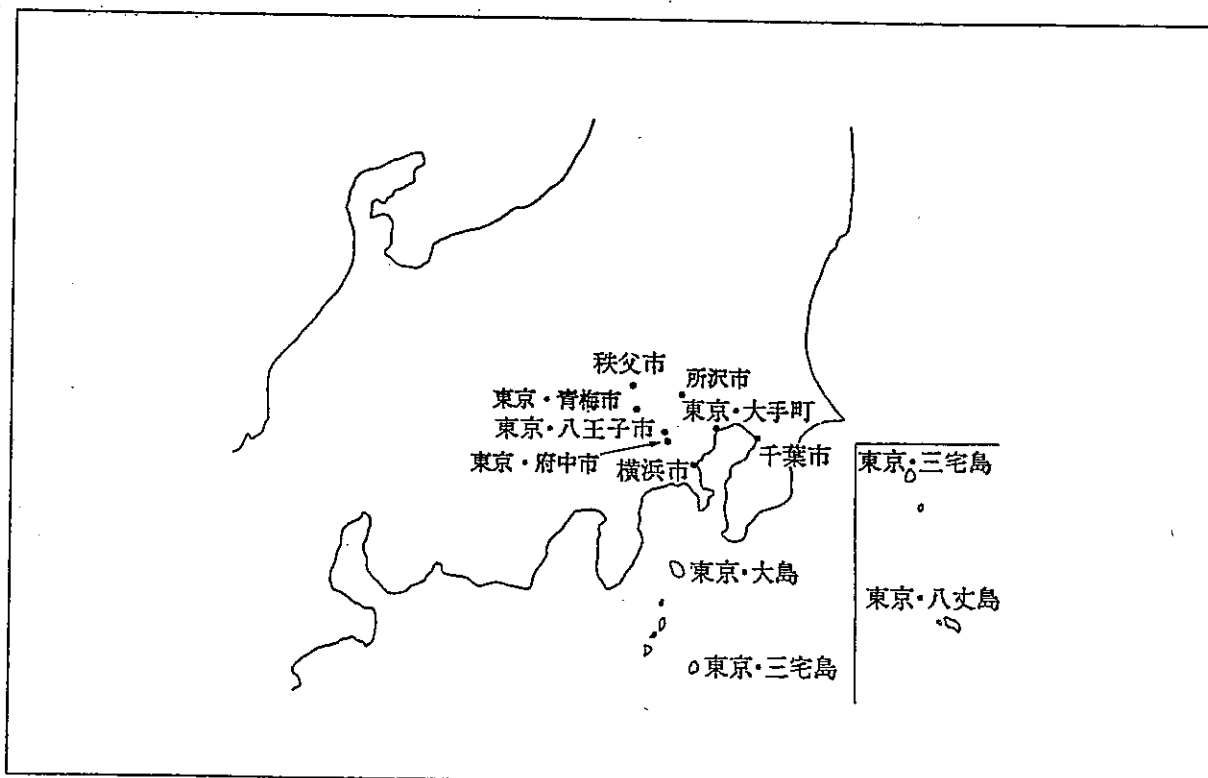


表1・1 JASS5に基づく温度補正值の適用期間(東京都・大手町)

28	強度管理材齢28日	測定期間	1985～2004
		供試体養生方法	現場水中養生 標準水中養生

セメントの種類	コンクリート強度の気温による補正值: T[N/mm ²]		
	0	3	6
早強ポルトランドセメント(H)	t ≥ 15 4/4～10/23	15 > t ≥ 5 10/24～4/3	5 > t ≥ 2 ※1
普通ポルトランドセメント(N)	t ≥ 16 4/10～10/16	16 > t ≥ 8 10/17～12/7 2/20～4/9	8 > t ≥ 3 ※1 12/8～2/19
中庸熱ポルトランドセメント(M)	t ≥ 17 4/17～10/10	17 > t ≥ 13 10/11～11/2 3/26～4/16	13 > t ≥ 9 ※2 11/3～11/28 3/1～3/25
フライアッシュセメントB種(FB)	t ≥ 16 4/10～10/16	16 > t ≥ 10 10/17～11/21 3/9～4/9	10 > t ≥ 5 ※1 11/22～3/8
高炉セメントB種(BB)	t ≥ 17 4/17～10/10	17 > t ≥ 13 10/11～11/2 3/26～4/16	13 > t ≥ 10 ※3 11/3～11/21 3/9～3/25
暑中コンクリートの適用期間		7/9～9/11	

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温(°C)
 ※1 tが5°C未満になる期間はない。
 ※2 tが9°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢(表2・1参照)で管理するなどの措置が必要である。
 ※3 tが10°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢(表2・1参照)で管理するなどの措置が必要である。
 * 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

表1・2 JASS5に基づく温度補正值の適用期間(東京都・府中市)

28	強度管理材齢28日	測定期間	1985～2004
		供試体養生方法	現場水中養生 標準水中養生

セメントの種類	コンクリート強度の気温による補正值: T[N/mm ²]		
	0	3	6
早強ポルトランドセメント(H)	t ≥ 15 4/10～10/12	15 > t ≥ 5 10/13～12/18 2/1～4/9	5 > t ≥ 2 ※1 12/19～1/31
普通ポルトランドセメント(N)	t ≥ 16 4/17～10/6	16 > t ≥ 8 10/7～11/20 3/3～4/16	8 > t ≥ 3 ※1 11/21～3/2
中庸熱ポルトランドセメント(M)	t ≥ 17 4/25～9/30	17 > t ≥ 13 10/1～10/22 3/31～4/24	13 > t ≥ 9 ※2 10/23～11/14 3/10～3/30
フライアッシュセメントB種(FB)	t ≥ 16 4/17～10/6	16 > t ≥ 10 10/7～11/8 3/16～4/16	10 > t ≥ 5 ※3 11/9～12/18 2/1～3/15
高炉セメントB種(BB)	t ≥ 17 4/25～9/30	17 > t ≥ 13 10/1～10/22 3/31～4/24	13 > t ≥ 10 ※4 10/23～11/8 3/16～3/30
暑中コンクリートの適用期間		7/16～9/5	

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温(°C)
 ※1 tが3°C未満になる期間はない。
 ※2 tが9°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢(表2・2参照)で管理するなどの措置が必要である。
 ※3 tが5°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢(表2・2参照)で管理するなどの措置が必要である。
 ※4 tが10°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢(表2・2参照)で管理するなどの措置が必要である。
 * 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

表1・3 JASS5に基づく温度補正値の適用期間(東京都・青梅市)

28	強度管理材齢28日	測定期間	1985~2004
		供試体養生方法	現場水中養生 標準水中養生

セメントの種類	コンクリート強度の気温による補正値: T[N/mm ²]		
	0	3	6
早強ポルトランドセメント(H)	t ≥ 15 4/17~10/5	15 > t ≥ 5 10/6~12/4 2/16~4/16	5 > t ≥ 2 ※1 12/5~2/15
普通ポルトランドセメント(N)	t ≥ 16 4/25~9/30	16 > t ≥ 8 10/1~11/13 3/11~4/24	8 > t ≥ 3 ※2 11/14~12/30 1/17~3/10
中庸熟ポルトランドセメント(M)	t ≥ 17 5/3~9/25	17 > t ≥ 13 9/26~10/16 4/5~5/2	13 > t ≥ 9 ※3 10/17~11/7 3/16~4/4
フライアッシュセメントB種(FB)	t ≥ 16 4/25~9/30	16 > t ≥ 10 10/1~11/1 3/21~4/24	10 > t ≥ 5 ※4 11/2~12/4 2/16~3/20
高炉セメントB種(BB)	t ≥ 17 5/3~9/25	17 > t ≥ 13 9/26~10/16 4/5~5/2	13 > t ≥ 10 ※5 10/17~11/1 3/21~4/4
暑中コンクリートの適用期間		7/23~8/27	

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温(°C)
 ※1 tが2°C未満になる期間はない。
 ※2 tが3°C未満になる期間については、別途JASS5の14節「寒中コンクリート」を参考にし、調合、打ち込み、養生等の計画を行うか、または初期凍結のおそれがない場合は、29日以上長期管理材齢(表2・3参照)で管理するなどの措置が必要である。
 ※3 tが9°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢(表2・2参照)で管理するなどの措置が必要である。
 ※4 tが10°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢(表2・2参照)で管理するなどの措置が必要である。
 ※5 tが10°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢(表2・2参照)で管理するなどの措置が必要である。
 * 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

表1・4 JASS5に基づく温度補正値の適用期間(東京都・八王子市)

28	強度管理材齢28日	測定期間	1985~2004
		供試体養生方法	現場水中養生 標準水中養生

セメントの種類	コンクリート強度の気温による補正値: T[N/mm ²]		
	0	3	6
早強ポルトランドセメント(H)	t ≥ 15 4/13~10/9	15 > t ≥ 5 10/10~12/7 2/11~4/12	5 > t ≥ 2 ※1 12/8~2/10
普通ポルトランドセメント(N)	t ≥ 16 4/20~10/3	16 > t ≥ 8 10/4~11/15 3/8~4/19	8 > t ≥ 3 ※1 11/16~3/7
中庸熟ポルトランドセメント(M)	t ≥ 17 4/29~9/27	17 > t ≥ 13 9/28~10/19 4/3~4/28	13 > t ≥ 9 ※2 10/20~11/10 3/13~4/2
フライアッシュセメントB種(FB)	t ≥ 16 4/20~10/3	16 > t ≥ 10 10/4~11/4 3/19~4/19	10 > t ≥ 5 ※3 11/5~12/7 2/11~3/18
高炉セメントB種(BB)	t ≥ 17 4/29~9/27	17 > t ≥ 13 9/28~10/19 4/3~4/28	13 > t ≥ 10 ※4 10/20~11/4 3/19~4/2
暑中コンクリートの適用期間		7/18~9/2	

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温(°C)
 ※1 tが3°C未満になる期間はない。
 ※2 tが9°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢(表2・2参照)で管理するなどの措置が必要である。
 ※3 tが5°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢(表2・2参照)で管理するなどの措置が必要である。
 ※4 tが10°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢(表2・2参照)で管理するなどの措置が必要である。
 * 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

表1・5 JASS5に基づく温度補正値の適用期間(東京都・三宅島)

28	強度管理材齢28日
----	-----------

測定期間	1985~2004
供試体	現場水中養生
養生方法	標準水中養生

セメントの種類	コンクリート強度の気温による補正値: T[N/mm ²]		
	0	3	6
早強ポルトランドセメント(H)	t ≥ 15 3/28~11/12	15 > t ≥ 5 11/13~3/27	5 > t ≥ 2 ※1
普通ポルトランドセメント(N)	t ≥ 16 4/5~11/5	16 > t ≥ 8 11/6~4/4	8 > t ≥ 3 ※1
中庸熱ポルトランドセメント(M)	t ≥ 17 4/14~10/28	17 > t ≥ 13 10/29~11/25 3/14~4/13	13 > t ≥ 9 ※2
フライアッシュセメントB種(FB)	t ≥ 16 4/5~11/5	16 > t ≥ 10 11/6~12/31 2/8~4/4	10 > t ≥ 5 ※1
高炉セメントB種(BB)	t ≥ 17 4/14~10/28	17 > t ≥ 13 10/29~11/25 3/14~4/13	13 > t ≥ 10 ※3
暑中コンクリートの適用期間		7/13~9/12	

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温(°C)

※1 tが8°C未満になる期間はない。

※2 tが9°C未満になる期間はない。

※3 tが10°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。

* 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

表1・6 JASS5に基づく温度補正値の適用期間(東京都・八丈島)

28	強度管理材齢28日
----	-----------

測定期間	1985~2004
供試体	現場水中養生
養生方法	標準水中養生

セメントの種類	コンクリート強度の気温による補正値: T[N/mm ²]		
	0	3	6
早強ポルトランドセメント(H)	t ≥ 15 3/22~11/17	15 > t ≥ 5 11/18~3/21	5 > t ≥ 2 ※1
普通ポルトランドセメント(N)	t ≥ 16 3/30~11/10	16 > t ≥ 8 11/11~3/29	8 > t ≥ 3 ※1
中庸熱ポルトランドセメント(M)	t ≥ 17 4/8~11/3	17 > t ≥ 13 11/4~12/2 3/5~4/7	13 > t ≥ 9 ※1
フライアッシュセメントB種(FB)	t ≥ 16 3/30~11/10	16 > t ≥ 10 11/11~3/29	10 > t ≥ 5 ※1
高炉セメントB種(BB)	t ≥ 17 4/8~11/3	17 > t ≥ 13 11/4~12/2 3/5~4/7	13 > t ≥ 10 ※1
暑中コンクリートの適用期間		7/10~9/18	

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温(°C)

※1 tが10°C未満になる期間はない。

* 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

表1・7 JASS5に基づく温度補正値の適用期間(東京都・大島)

28	強度管理材齢28日	測定期間	1985～2004
		供試体養生方法	現場水中養生 標準水中養生

補正値T セメントの種類	コンクリート強度の気温による補正値: T[N/mm ²]		
	0	3	6
早強ポルトランドセメント(H)	t ≥ 15 4/10～10/25	15 > t ≥ 5 10/26～4/9	5 > t ≥ 2 ※1
普通ポルトランドセメント(N)	t ≥ 16 4/19～10/17	16 > t ≥ 8 10/18～12/20 2/15～4/18	8 > t ≥ 3 ※1 12/21～2/14
中庸熱ポルトランドセメント(M)	t ≥ 17 4/29～10/10	17 > t ≥ 13 10/11～11/6 3/28～4/28	13 > t ≥ 9 ※2 11/7～12/8 2/27～3/27
フライアッシュセメントB種(FB)	t ≥ 16 4/19～10/17	16 > t ≥ 10 10/18～11/28 3/8～4/18	10 > t ≥ 5 ※1 11/29～3/7
高炉セメントB種(BB)	t ≥ 17 4/29～10/10	17 > t ≥ 13 10/11～11/6 3/28～4/28	13 > t ≥ 10 ※3 11/7～11/28 3/8～3/27
暑中コンクリートの適用期間		7/27～8/30	

注:表中のtは、コンクリートの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温(°C)
 ※1 tが5°C未満になる期間はない。
 ※2 tが9°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。
 ※3 tが10°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。
 * 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

参考表1・1 JASS5に基づく温度補正値の適用期間(横浜市)

28	強度管理材齢28日	測定期間	1985～2004
		供試体養生方法	現場水中養生 標準水中養生

補正値T セメントの種類	コンクリート強度の気温による補正値: T[N/mm ²]		
	0	3	6
早強ポルトランドセメント(H)	t ≥ 15 4/7～10/20	15 > t ≥ 5 10/21～4/6	5 > t ≥ 2 ※1
普通ポルトランドセメント(N)	t ≥ 16 4/14～10/14	16 > t ≥ 8 10/15～12/5 2/23～4/13	8 > t ≥ 3 ※1 12/6～2/22
中庸熱ポルトランドセメント(M)	t ≥ 17 4/22～10/7	17 > t ≥ 13 10/8～10/31 3/28～4/21	13 > t ≥ 9 ※2 11/1～11/26 3/4～3/27
フライアッシュセメントB種(FB)	t ≥ 16 4/14～10/14	16 > t ≥ 10 10/15～11/19 3/11～4/13	10 > t ≥ 5 ※1 11/20～3/10
高炉セメントB種(BB)	t ≥ 17 4/22～10/7	17 > t ≥ 13 10/8～10/31 3/28～4/21	13 > t ≥ 10 ※3 11/1～11/19 3/11～3/27
暑中コンクリートの適用期間		7/15～9/7	

注:表中のtは、コンクリートの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温(°C)
 ※1 tが5°C未満になる期間はない。
 ※2 tが9°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。
 ※3 tが10°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。
 * 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

参考表1・2 JASS5に基づく温度補正値の適用期間(千葉市)

28	強度管理材齢28日	測定期間	1985～2004
		供試体 養生方法	現場水中養生 標準水中養生

セメントの種類	コンクリート強度の気温による補正値: T[N/mm ²]		
	0	3	6
早強ポルトランドセメント(H)	t ≥ 15 4/7～10/20	15 > t ≥ 5 10/21～4/6	5 > t ≥ 2 ※1
普通ポルトランドセメント(N)	t ≥ 16 4/14～10/14	16 > t ≥ 8 10/15～12/3 2/24～4/13	8 > t ≥ 3 ※1
中庸熟ポルトランドセメント(M)	t ≥ 17 4/22～10/8	17 > t ≥ 13 10/9～10/31 3/28～4/21	13 > t ≥ 9 ※2 11/1～11/26 3/5～3/27
フライアッシュセメントB種(FB)	t ≥ 16 4/14～10/14	16 > t ≥ 10 10/15～11/19 3/11～4/13	10 > t ≥ 5 ※1 11/20～3/10
高炉セメントB種(BB)	t ≥ 17 4/22～10/8	17 > t ≥ 13 10/9～10/31 3/28～4/21	13 > t ≥ 10 ※3 11/1～11/19 3/11～3/27
暑中コンクリートの適用期間		7/15～9/8	

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温(°C)

※1 tが5°C未満になる期間はない。

※2 tが9°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。

※3 tが10°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。

* 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

参考表1・3 JASS5に基づく温度補正値の適用期間(秩父市)

28	強度管理材齢28日	測定期間	1985～2004
		供試体 養生方法	現場水中養生 標準水中養生

セメントの種類	コンクリート強度の気温による補正値: T[N/mm ²]		
	0	3	6
早強ポルトランドセメント(H)	t ≥ 15 4/19～9/30	15 > t ≥ 5 10/1～11/22 2/24～4/18	5 > t ≥ 2 ※1 11/23～12/24 1/24～2/23
普通ポルトランドセメント(N)	t ≥ 16 4/27～9/26	16 > t ≥ 8 9/27～11/4 3/15～4/26	8 > t ≥ 3 ※2 11/5～12/9 2/6～3/14
中庸熟ポルトランドセメント(M)	t ≥ 17 5/4～9/21	17 > t ≥ 13 9/22～10/10 4/8～5/3	13 > t ≥ 9 ※3 10/11～10/30 3/20～4/7
フライアッシュセメントB種(FB)	t ≥ 16 4/27～9/26	16 > t ≥ 10 9/27～10/25 3/25～4/26	10 > t ≥ 5 ※4 10/26～11/22 2/24～3/24
高炉セメントB種(BB)	t ≥ 17 5/4～9/21	17 > t ≥ 13 9/22～10/10 4/8～5/3	13 > t ≥ 10 ※5 10/11～10/25 3/25～4/7
暑中コンクリートの適用期間		7/23～8/21	

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温(°C)

※1 tが2°C未満になる期間については、別途JASS5の14節「寒中コンクリート」を参考にし、調合、打ち込み、養生等の計画を行うか、または初期凍結のおそれがない場合は、29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。

※2 tが3°C未満になる期間については、別途JASS5の14節「寒中コンクリート」を参考にし、調合、打ち込み、養生等の計画を行うか、または初期凍結のおそれがない場合は、29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。

※3 tが9°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。

※4 tが5°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。

※5 tが10°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。

* 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

参考表1・4 JASS5に基づく温度補正値の適用期間(所沢市)

28 強度管理材齢28日

測定期間	1985～2004
供試体 養生方法	現場水中養生 標準水中養生

補正値T セメント の種類	コンクリート強度の気温による補正値: T[N/mm ²]		
	0	3	6
早強ポルトランド セメント (H)	t ≥ 15 4/15～10/8	15 > t ≥ 5 10/9～12/9 2/12～4/14	5 > t ≥ 2 ※1 12/10～2/11
普通ポルトランド セメント (N)	t ≥ 16 4/22～10/2	16 > t ≥ 8 10/3～11/16 3/9～4/21	8 > t ≥ 3 ※1 11/17～3/8
中庸熱ポルトラン セメント (M)	t ≥ 17 5/1～9/27	17 > t ≥ 13 9/28～10/19 4/4～4/30	13 > t ≥ 9 ※2 10/20～11/10 3/15～4/3
フライアッシュ セメントB種 (FB)	t ≥ 16 4/22～10/2	16 > t ≥ 10 10/3～11/5 3/20～4/21	10 > t ≥ 5 ※3 11/6～12/9 2/12～3/19
高炉 セメントB種 (BB)	t ≥ 17 5/1～9/27	17 > t ≥ 13 9/28～10/19 4/4～4/30	13 > t ≥ 10 ※4 10/20～11/5 3/20～4/3
暑中コンクリートの適用期間		7/21～8/31	

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温(°C)

※1 tが3°C未満になる期間はない。

※2 tが9°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。

※3 tが5°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。

※4 tが10°C未満になる期間については、別途29日以上長期管理材齢で管理するなどの措置が必要である。

* 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

表2・1 JASS5に基づく温度補正值の適用期間(東京都・大手町)

長 強度管理材齢 n日

測定期間	1985～2004
供試体養生方法	現場封かん養生

セメントの種類	管理材齢 (n日)	コンクリート強度の気温による補正值: T[N/mm ²]		
		0	3	6
普通ポルトランドセメント (N)	42	$t \geq 8$	$8 > t \geq 4$	$4 > t \geq 2$
		2/10～12/3	12/4～2/9	
	56	$t \geq 4$	$4 > t \geq 2$	—
		1/1～12/31		
	91	$t \geq 2$	—	—
		1/1～12/31		
中庸熱ポルトランドセメント (M)	42	$t \geq 9$	$9 > t \geq 5$	$5 > t \geq 3$
		2/19～11/24	11/25～2/18	
	56	$t \geq 5$	$5 > t \geq 2$	—
		1/1～12/31		
	91	$t \geq 2$	—	—
		1/1～12/31		
フライアッシュセメントB種 (FB)	42	$t \geq 8$	$8 > t \geq 5$	$5 > t \geq 3$
		2/10～12/3	12/4～2/9	
	56	$t \geq 4$	$4 > t \geq 2$	—
		1/1～12/31		
	91	$t \geq 2$	—	—
		1/1～12/31		
高炉セメントB種 (BB)	42	$t \geq 14$	$14 > t \geq 10$	$10 > t \geq 6$
		3/22～10/22	10/23～11/16 2/27～3/21	11/17～2/26
	56	$t \geq 10$	$10 > t \geq 5$	$5 > t \geq 2$
		2/18～11/10	11/11～2/17	
	91	$t \geq 2$	—	—
		1/1～12/31		

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みからn日までの期間の予想平均気温(°C)

* 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

表2・2 JASS5に基づく温度補正値の適用期間(東京都・府中市)

長 強度管理材齢 n日

測定期間	1985～2004
供試体養生方法	現場封かん養生

セメントの種類	管理材齢 (n日)	コンクリート強度の気温による補正値: T[N/mm ²]		
		0	3	6
普通ポルトランドセメント (N)	42	t ≥ 8 2/21～11/16	8 > t ≥ 4 11/17～2/20	4 > t ≥ 2
		t ≥ 4 1/1～12/31	4 > t ≥ 2	-
	91	t ≥ 2 1/1～12/31	-	-
中庸熱ポルトランドセメント (M)	42	t ≥ 9 2/28～11/9	9 > t ≥ 5 11/10～12/15 1/22～2/27	5 > t ≥ 3 12/16～1/21
		t ≥ 5 1/11～12/11	5 > t ≥ 2 12/12～1/10	-
	91	t ≥ 2 1/1～12/31	-	-
フライアッシュセメントB種 (FB)	42	t ≥ 8 2/21～11/16	8 > t ≥ 5 11/17～12/15 1/22～2/20	5 > t ≥ 3 12/16～1/21
		t ≥ 4 1/1～12/31	4 > t ≥ 2	-
	91	t ≥ 2 1/1～12/31	-	-
高炉セメントB種 (BB)	42	t ≥ 14 3/28～10/11	14 > t ≥ 10 10/12～11/3 3/6～3/27	10 > t ≥ 6 11/4～12/2 2/3～3/5
		t ≥ 10 2/26～10/28	10 > t ≥ 5 10/29～12/11 1/11～2/25	5 > t ≥ 2 12/12～1/10
	91	t ≥ 2 1/1～12/31	-	-

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みからn日までの期間の予想平均気温(°C)
 * 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

表2-3 JASS5に基づく温度補正值の適用期間(東京都・青梅市)

長 強度管理材齢 n日

測定期間	1985～2004
供試体養生方法	現場封かん養生

セメントの種類	管理材齢 (n日)	コンクリート強度の気温による補正值: T[N/mm ²]		
		0	3	6
普通ポルトランドセメント (N)	42	$t \geq 8$	$8 > t \geq 4$	$4 > t \geq 2$
		3/1～11/8	11/9～12/10 1/26～2/28	12/11～1/25
	56	$t \geq 4$	$4 > t \geq 2$	—
		1/17～12/5	12/6～1/16	
	91	$t \geq 2$	—	—
		1/1～12/31		
中庸熱ポルトランドセメント (M)	42	$t \geq 9$	$9 > t \geq 5$	$5 > t \geq 3$
		3/7～11/2	11/3～11/30 2/6～3/6	12/1～2/5
	56	$t \geq 5$	$5 > t \geq 2$	—
		1/29～11/24	11/25～1/28	
	91	$t \geq 2$	—	—
		1/1～12/31		
フライアッシュセメントB種 (FB)	42	$t \geq 8$	$8 > t \geq 5$	$5 > t \geq 3$
		3/1～11/8	11/9～11/30 2/6～2/28	12/1～2/5
	56	$t \geq 4$	$4 > t \geq 2$	—
		1/17～12/5	12/6～1/16	
	91	$t \geq 2$	—	—
		1/1～12/31		
高炉セメントB種 (BB)	42	$t \geq 14$	$14 > t \geq 10$	$10 > t \geq 6$
		4/3～10/5	10/6～10/28 3/12～4/2	10/29～11/21 2/15～3/11
	56	$t \geq 10$	$10 > t \geq 5$	$5 > t \geq 2$
		3/5～10/21	10/22～11/24 1/29～3/4	11/25～1/28
	91	$t \geq 2$	—	—
		1/1～12/31		

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みからn日までの期間の予想平均気温(°C)

* 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。

表2-4 JASS5に基づく温度補正値の適用期間(東京都・八王子市)

長 強度管理材齢 n日

測定期間	1985～2004
供試体養生方法	現場封かん養生

セメントの種類	管理材齢 (n日)	コンクリート強度の気温による補正値: T[N/mm ²]			
		0	3	6	
普通ポルトランドセメント (N)	42	$t \geq 8$ 2/26～11/11	$8 > t \geq 4$ 11/12～12/15 1/20～2/25	$4 > t \geq 2$ 12/16～1/19	
		$t \geq 4$ 1/9～12/11	$4 > t \geq 2$ 12/12～1/8	—	
	91	$t \geq 2$ 1/1～12/31	—	—	
		—	—	—	
	中庸熱ポルトランドセメント (M)	42	$t \geq 9$ 3/4～11/5	$9 > t \geq 5$ 11/6～12/3 2/1～3/3	$5 > t \geq 3$ 12/4～1/31
			$t \geq 5$ 1/24～11/28	$5 > t \geq 2$ 11/29～1/23	—
91		$t \geq 2$ 1/1～12/31	—	—	
		—	—	—	
フライアッシュセメントB種 (FB)		42	$t \geq 8$ 2/26～11/11	$8 > t \geq 5$ 11/12～12/3 2/1～2/25	$5 > t \geq 3$ 12/4～1/31
			$t \geq 4$ 1/9～12/11	$4 > t \geq 2$ 12/12～1/8	—
	91	$t \geq 2$ 1/1～12/31	—	—	
		—	—	—	
	高炉セメントB種 (BB)	42	$t \geq 14$ 3/31～10/8	$14 > t \geq 10$ 10/9～10/30 3/9～3/30	$10 > t \geq 6$ 10/31～11/24 2/11～3/8
			$t \geq 10$ 3/2～10/24	$10 > t \geq 5$ 10/25～11/28 1/24～3/1	$5 > t \geq 2$ 11/29～1/23
91		$t \geq 2$ 1/1～12/31	—	—	
		—	—	—	

注: 表中のtは、コンクリートの打ち込みからn日までの期間の予想平均気温(°C)

* 上記期間は、あくまで標準期間であり、実際には打設時点での気温を予測する等、状況に応じて計画すること。